

<p>クラス：</p>	<h1 style="color: red;">ビジネスに効く英文法</h1> <h2 style="color: red;">EBGrM-64</h2>
<p>曜日：</p>	<p>Saturday</p>
<p>時間：</p>	<p>16:30-18:20</p>
<p>レベル：</p>	<p>中級</p>
<p>講師：</p>	<p>Ms.大石美幸</p>
<p>目的：</p>	<p>英語運用の基礎となる英文法の各重要ポイントを学ぶと同時に、家族・友人などの親しい間柄外（いわゆるビジネスシーン）で使用される言葉やその使い方を学び、TPOを意識した社会人英語を身に付けることを目標とします。</p> <p>母語であっても、親しい周囲の間柄で使用する語句や言い回しと、その圏外、特に仕事の場面で使用するそれとの違いを意識し、うまく運用するに至るまでは訓練が必要ですが、外国語でも同じことが言えます。母語の場合、当然ながら言葉自体の意味の理解は自然に付いてくるので、言葉使いの適不適は容易に判断でき、よってその表層部の磨きに集中するだけの訓練になりますが、外国語となると、母語では当然のように存在した文法・語彙・発音の正しい理解と運用を学ばなければなりません。</p> <p>よって、俗にいう「ビジネス英語」の正体を突き止めるとするならば、「文法・語彙・発音」の言語習得三要素の基礎学習を土台とし、その上にビジネスシーンにふさわしい、「TPO が意識できる社会人言葉使い」の習得という、二層構造になっていると考えます。</p> <p>こうした習得は簡単とは言えませんが、よくデザインされた優れた教材を利用し、上記①重要文法箇所、②適正な語彙と表現、そして英語学習時の盲点となりながらも、特に TPO に敏感に反応し、よってビジネス結果に影響を及ぼしかねない③イントネーションを中心とした発音学習を軸に学びを続けることで、着実に身に付けることができるものと思います。</p>
<p>授業内容：</p>	<p>Cambridge University Press 出版 <i>Grammar for Business</i> を使い、章ごとに、時制、態、仮定法、可算不可算名詞、冠詞など、全文法項目を履修します。理屈だけに終わらないよう、豊富な練習問題で「基本となるかたちと音の学習と反復練習」を重ねて身に付けていきます。また、ケンブリッジ大学出版の持つ豊かなコーパス（蓄積データ）を基に、実際のビジネスシーンで使われる生きた英語を学んでいきます。</p> <p>更に、ミーティングなど、社内、同僚間などにも役立つ表現や言い回し、社内社外両方用にプレゼン準備、交渉、意見交換などの実践応用への‘tips’も、useful expressions とともに学びます。</p>
<p>教材：</p>	<p><i>Grammar for Business</i>; Cambridge University Press Units 4 and 5 Past Simple, Past Continuous, Past Perfect を扱います。 ◆名著 <i>In Use Series</i> のビジネス版です。ケンブリッジ大学出版の充実したコーパスに裏打ちされた実践的な例文や文章問題は、文法のみならず、語彙や同僚間の会話表現集としても大変有益です。講座名は「ビジネス英文法」ですが、名以上の奥行を持った講座です。</p>
<p>備考：</p>	